

がん患者コミュニティサロン通信

秋田赤十字病院 がん患者サロン

〒010-1495 秋田市上北手猿田字苗代沢 222-1

☎ 018-829-5000 (内線 2182)



迎春

明けましておめでとうございます。

輝かしい新年がスタートしました。

コミュニティサロンの会が充実した一年となりますよう
また、ここに集うみなさまが、お健やかに希望に満ちた
一年でありますようお願いしております。今年もよろしくお願ひ申し上げます。



～2018年サロンの会より～

2018年は「がん患者コミュニティサロン通信」を残念ながら2回の発行に止まってしまいました。今年は可能なかぎり定期的に発信できるよう取り組んでいきたいと思ひます。

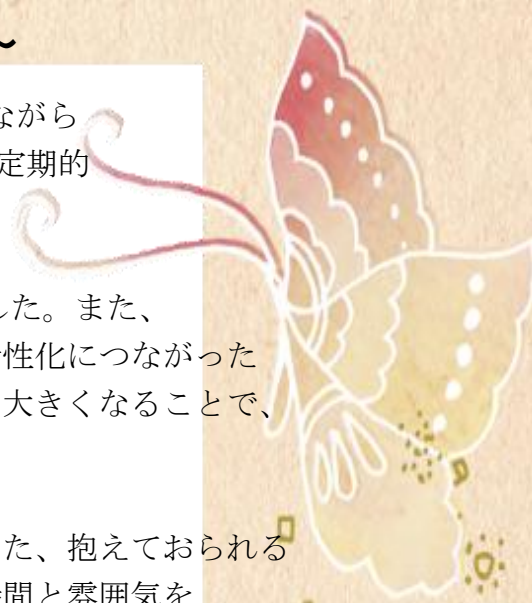
＜去年の参加人数と特徴について＞

毎月、12名～14名、11月は20名の参加をいただきました。また、毎月のように初参加の方々をお迎えできたことが、会の活性化につながったのではないのでしょうか。今年はさらなるサロンの会の輪が大きくなることで、私たちががん患者がつながっていければと思ひます。

＜毎月の会の進め方とレクチャーについて＞

参加された方々が、じっくりとお話ができるように、また、抱えておられる不安や苦痛を少しでも軽減できるよう、ゆったりとした時間と雰囲気大切にしました。そこでレクチャーの持ち方を検討。隔月で取り組むことで無理のない計画につながり、楽しみと学びができたのではないのでしょうか。

- ① 抱えておられる病気とその症状、食事や塩分制限、そして日常生活について。
- ② 抗がん剤の副作用にどう向き合っているか、特にしびれに関しては医師に話してもなかなか理解してもらえない。
- ③ 自身が、がん患者となって大変な中、親の介護問題を抱えている。
- ④ 一番しんどい時に治療の選択をするのは辛い。医療者側の対応で良かったこと、反対に不満に思っていることなど、お話がありました。
- ⑤ 重症の状態から回復し、現在も治療中の方から、叶わない目標ではなく、達成出来る目標を持つことが大切であり、がんを負けないためには心の持ち方が大切。そして、「笑う」ことが免疫力を高め、心を元気に明るくしてくれる。みなさん笑うことを意識した日常生活を送りましょうと、お話されました。*毎月のお話の中からお紹介させて頂きました。



～ 2018年のレクチャーコーナー ～

<11月> お茶会を楽しみました
一昨年から2回目となったお茶会でした。
講師：茶道裏千家教授 永田先生
先生から茶道について学び、お茶を頂戴
しました。
みなさん、幸せいっぱいの笑顔でした。



<5月> アピアランスケア・メイク
講師：アデランス・安田さん
治療中、普段の肌の手入れの仕方を教えて頂き
参加者にも実際にお化粧していただきました。
メイクでみなさん明るい表情、キラキラ
輝いていました。**がんに負けないぞ!!**



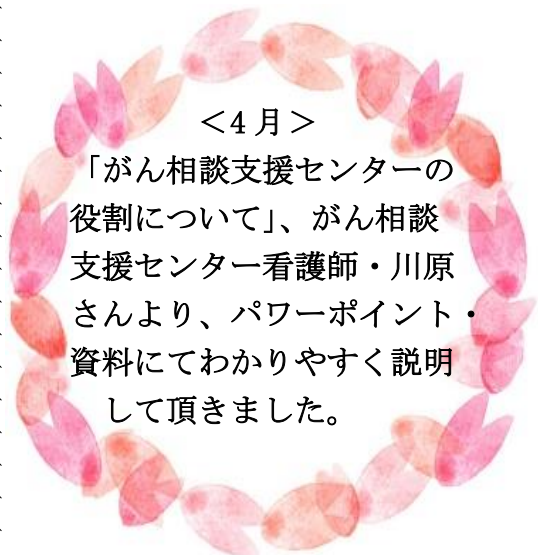
<10月> パステル和みアート
講師：高橋みどりさん
毎年、年2回 先生のやさしい
ご指導のもと、思いおもいの色づかいで
作品完成です。無になって、心身ともに
癒やされるひとときを過ごせます。



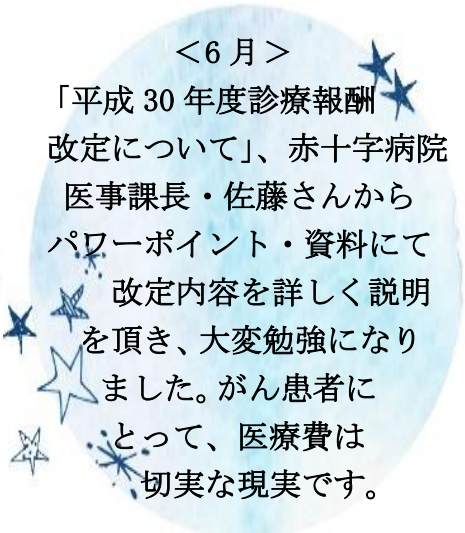
<12月> クリスマスカードづくり
講師：アデランス・安田さん
毎年、安田さんのご指導のもと
可愛い、ステキなクリスマスカード
の作成。みなさんの個性が光ります。
きっと大切な方に心をこめて
贈られることでしょう!!



<4月>
「がん相談支援センターの
役割について」、がん相談
支援センター看護師・川原
さんより、パワーポイント・
資料にてわかりやすく説明
して頂きました。



<6月>
「平成30年度診療報酬
改定について」、赤十字病院
医事課長・佐藤さんから
パワーポイント・資料にて
改定内容を詳しく説明
を頂き、大変勉強になり
ました。がん患者に
とって、医療費は
切実な現実です。



<7月>
サロンの会の
Kさんから、折り紙
での傘づくりを教えて
頂きました。細かい作業
をみなさん、真剣に取り組
み、美しい傘の完成です。
他の折り紙も挑戦
したいですね。

